

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式(A-1仕様)

[平面部]	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a)	法定福利費率(b)		歩掛	=	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価
24,800 ×	0.15581 ×		0.081	=	312.99 + 76.57	11,880円/m ²
18,900 ×	0.15581 ×		0.026	=	389.56	(A-1仕様)
						法定福利費率(i)
						389.56 ÷ 11,880 × 100
						3.279

[立上り部]	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a')	法定福利費率(b')		歩掛	=	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価
24,800 ×	0.15581 ×		0.130	=	502.33 + 120.74	16,300円/m ²
18,900 ×	0.15581 ×		0.041	=	623.07	(A-1仕様)
						法定福利費率(i')
						623.07 ÷ 16,300 × 100
						3.823

[アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]	※5
平面部	84.1% × 3.279 = 0.027576
立上り部	15.9% × 3.823 = 0.006079

[アスファルト防水工事(A-1仕様)における法定福利費比率]

0.02758 + 0.00608 = 0.03366 ⇒ アスファルト防水の全仕様の法定福利費率の平均値は 0.030506

- ※1. 平成29年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※2. 平成29年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. 「工事歩掛要覧」(改訂21版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
- ※4. 日本防水材料連合会(JWMA)のメーカー6社平均値を記載例として掲載(A-1仕様)
- ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

[平面部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	=	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価
3,116 × 0.8732 × 0.15581	=	423.96	11,380 × 100
			法定福利費率
			= 3.726

[立上り部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	=	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価
2,934 × 0.8732 × 0.15581	=	399.18	8,972 × 100
			法定福利費率
			= 4.449

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1% × 3.726 = 0.031336
立上り部	15.9% × 4.449 = 0.007074

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率]

0.031327 + 0.007074 = 0.03841

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※2. 平成29年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,378 & & 0.8732 & & 0.15581 & & 323.55 \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費	平均設計単価
323.55	9,459
÷	×
	100
法定福利費率	
= 3.4205	

[立上り部] ※1

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,747 & & 0.8732 & & 0.15581 & & 373.76 \end{array}$$

※3	
㎡当りの法定福利費	平均設計単価
373.76	9,258
÷	×
	100
法定福利費率	
= 4.0371	

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1%	×	3.4205	=	0.028766
立上り部	15.9%	×	4.0371	=	0.006419

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

$$0.028766 + 0.006419 = 0.035185$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 平成29年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材料市場白書」より)

	市場占有率	計算値	調整値
アスファルト防水	0.310	× 0.03051(※)	= 0.00946
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	× 0.03841	= 0.01360
塗膜防水	0.336	× 0.03519	= 0.01182
合計			0.03488

※. アスファルト防水全仕様の計算値

1. ポリマーセメント系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利费率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,122 & & 0.8732 & & 0.15581 & & 288.72 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 288.72 & \div & 5,370 \times 100 \\ \text{法定福利费率} & & \\ = & & 5.3765 \end{array}$$

〔立上り部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利费率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,142 & & 0.8732 & & 0.15581 & & 291.44 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 291.44 & \div & 5,390 \times 100 \\ \text{法定福利费率} & & \\ = & & 5.4071 \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

$$\begin{array}{ccccccc} \text{平面部} & & 34.7\% & \times & 5.3765 & = & 0.0186565 \\ \text{立上り部} & & 65.3\% & \times & 5.4071 & = & 0.0353084 \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における法定福利費比率〕

$$0.0186565 + 0.035308 = 0.053965$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 平成29年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. ケイ酸質系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部・立上り部の区別なし〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利费率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 1,204.7 & & 0.8732 & & 0.15581 & & 163.91 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 163.91 & \div & 3083.3 \times 100 \\ \text{法定福利费率} & & \\ = & & 5.3161 \end{array}$$

〔ケイ酸質系防水工事における法定福利費比率〕

$$5.3161$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 平成29年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

3. セメント系防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率		計算値		調整値
ポリマーセメント系防水	0.7551	×	0.05397	=	0.04075
ケイ酸質系防水	0.2449	×	0.05316	=	0.01302
合計					0.05377

[1成分形シーリング材]	※1 平均価格		※2 市場比率		修正価格
シリコーン	5800.0	×	0.4381	=	2541.0
変成シリコーン	6786.3	×	0.3614	=	2452.6
ポリウレタン系	5625.5	×	0.2005	=	1127.9
合計					6121.4

1ℓ当りの材料費		使用量		m当りの材料費
6121.4	×	0.055	=	336.7

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					336.7
補足材	336.7 × 10%				33.7
防水工	※3	※4			
その他	0.027 × 24,800	=			669.6
	上記の13%				
合計	[336.7+33.7+669.6]	×	0.13		135.2
合計					1175.1

m当りの法定福利費(j)	669.6 × 0.15581	=	104.33	※5
法定福利费率(k)	104.33 ÷ 1175.1 × 100	=	8.878	

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(改訂21版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 平成29年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 平成29年度の各保険の保険料率について(2頁)

[2成分形シーリング材]	※1 平均価格		※2 市場比率		修正価格
シリコーン	5,653.3	×	0.0465	=	262.9
変成シリコーン	3,522.5	×	0.4454	=	1568.9
ポリサルファイド	3,292.5	×	0.0912	=	300.3
ポリウレタン系	1,855.0	×	0.4169	=	773.3
合計					2905.4

1ℓ当りの材料費		使用量		m当りの材料費
2905.4	×	0.25	=	726.4

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					726.4
補足材	726.4 × 10%				72.6
防水工	※3	※4			
その他	0.039 × 24,800	=			967.2
	上記の13%				
合計	[726.4+72.6+967.2]	×	0.13		229.6
合計					1995.8

m当りの法定福利費(j')	967.2 × 0.15581	=	150.70	※5
法定福利费率(k')	150.70 ÷ 1,995.8 × 100	=	7.551	

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(改訂21版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 平成29年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 平成29年度の各保険の保険料率について(2頁)

○シーリング防水の法定福利费率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	8.878	=	4.901
2成分形シーリング材	0.448	×	7.551	=	3.383
合計					8.284